

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 24 日 (2021.9.24)

【公表番号】特表 2020-531462 (P2020-531462A)

【公表日】令和 2 年 11 月 5 日 (2020.11.5)

【年通号数】公開・登録公報 2020-045

【出願番号】特願 2020-508983 (P2020-508983)

【国際特許分類】

A 6 1 K	36/54	(2006.01)
A 6 1 K	36/185	(2006.01)
A 6 1 K	36/61	(2006.01)
A 6 1 K	36/889	(2006.01)
A 6 1 K	36/28	(2006.01)
A 6 1 K	36/899	(2006.01)
A 6 1 K	36/55	(2006.01)
A 6 1 K	36/31	(2006.01)
A 6 1 K	36/47	(2006.01)
A 6 1 K	36/48	(2006.01)
A 6 1 K	36/23	(2006.01)
A 6 1 K	36/53	(2006.01)
A 6 1 K	36/534	(2006.01)
A 6 1 K	36/752	(2006.01)
A 6 1 K	36/235	(2006.01)
A 6 1 K	36/258	(2006.01)
A 6 1 K	36/725	(2006.01)
A 6 1 K	31/7048	(2006.01)
A 6 1 K	31/56	(2006.01)
A 6 1 K	31/045	(2006.01)
A 6 1 K	47/38	(2006.01)
A 6 1 K	47/32	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/36	(2006.01)
A 6 1 K	47/26	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	9/107	(2006.01)
A 6 1 K	47/44	(2017.01)
A 6 1 K	47/14	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K	36/54
A 6 1 K	36/185
A 6 1 K	36/61
A 6 1 K	36/889
A 6 1 K	36/28
A 6 1 K	36/899
A 6 1 K	36/55
A 6 1 K	36/31
A 6 1 K	36/47
A 6 1 K	36/48

A 6 1 K 36/23
A 6 1 K 36/53
A 6 1 K 36/534
A 6 1 K 36/752
A 6 1 K 36/235
A 6 1 K 36/258
A 6 1 K 36/725
A 6 1 K 31/7048
A 6 1 K 31/56
A 6 1 K 31/045
A 6 1 K 47/38
A 6 1 K 47/32
A 6 1 K 47/10
A 6 1 K 47/36
A 6 1 K 47/26
A 6 1 K 9/08
A 6 1 K 9/107
A 6 1 K 47/44
A 6 1 K 47/14
A 6 1 P 27/02

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月16日(2021.8.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒトの眼又は皮膚の表面を処置するための組成物において、
水と、

アボカド油を 0.05%～0.5% にて含有し、さらにホホバ油、ティーツリー油、ココナツ油、オレウロペイン、綿実油、ヒマワリ油、トウモロコシ油、アマニ油、菜種油、ティーツリー油、アルガン油、ヒマシ油、ダイズ油、オリーブ油、キャラウェイ油、ローズマリー油、ペパーミント油、ヒマワリ油、ユーカリ油、ベルガモット油、フェンネル油、ゴマ油、メントール油、ヤクヨウニンジン油、ナツメ油、オクラ油、これらの誘導体、及び任意の 2 種以上の混合物のうちの少なくとも 1 つからなる群から選択される油を含有する疎水性構成要素であって、ドライアイ症候群の愁訴があるヒトの眼に入れられたときに、ドライアイ症候群を有利に処置するために有効な量で存在する疎水性構成要素とを含有する、組成物。

【請求項 2】

等張剤、粘度増強剤、及び界面活性剤をさらに含有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記等張剤は、アルカリ金属の塩化物、ヒアルロン酸塩、アクリル酸塩、及びグリセリンからなる群から選択される、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記粘度増強剤は、メチルセルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、ヒドロキシエチルセルロース、カルボポール（登録商標）カルボマー、Pemulen（登録商標）カルボマー、Novelon（登録商標）カルボマー、ポリビニルアルコール、ポリエ

チレングリコール、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール、ヒアルロン酸のアルカリ金属塩、及びポリビニルピロリドンからなる群から選択される、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記界面活性剤は、ポリオキシエチレンソルビタンエステル界面活性剤、ポリオキシル 40 ステアレート、及びポリオキシル 40 水素化ヒマシ油からなる群から選択される、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記等張剤の構成要素はグリセリンを含有し、前記粘度増強剤は P e m u l e n (登録商標) カルボマー及びヒドロキシプロピルメチルセルロースを含有し、前記界面活性剤はポリオキシエチレンソルビタンエステル界面活性剤を含有する、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 7】

殺生物剤をさらに含有する、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記殺生物剤は、塩化ベンズアルコニウム (B A K)、塩化ベンゼトニウム、メチルパラベン、エチルパラベン、フェニル水銀塩、過ホウ酸ナトリウム、クロロブタノール、ヘキセチジン、安定化されたオキシクロロ複合体 (P u r i t e (登録商標))、及び安定化されたチメロサールからなる群から選択される、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

グリセリン、P e m u l e n (登録商標) カルボマー、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、ポリオキシエチレンソルビタンエステル界面活性剤、及び塩化ベンズアルコニウムを含有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 10】

0.05% ~ 0.1% のアボカド油と、1% のグリセリンと、P e m u l e n (登録商標) カルボマーと、ヒドロキシプロピルメチルセルロースと、ポリオキシエチレンソルビタンエステル界面活性剤と、0.005% の塩化ベンズアルコニウムを含有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 11】

ヒマシ油をさらに含有する、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

ヒマシ油を 0.05% ~ 0.1% にて含有する、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

1.3 センチポアズ ~ 8 センチポアズの粘度を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 14】

4 センチポアズ ~ 100 センチポアズの粘度を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 15】

100 センチポアズを超える粘度を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 16】

ヒトの眼又は皮膚の表面を処置するための組成物において、
水と、

0.05% ~ 0.5% のアボカド油と、0.05% ~ 0.5% のヒマシ油とを含有する疎水性構成要素であって、ドライアイ症候群の愁訴があるヒトの眼に入れられたときに、ドライアイ症候群を有利に処置するために有効な量で存在する疎水性構成要素とを含有し、

前記組成物は、a) 1.3 センチポアズ ~ 100 センチポアズ、及び b) 100 センチポアズを超える数値から選択される粘度を有する、組成物。

【請求項 17】

等張剤、粘度増強剤、及び界面活性剤をさらに含有する、請求項 16 に記載の組成物。

【請求項 18】

前記等張剤の構成要素はグリセリンを含有し、前記粘度増強剤は P e m u l e n (登録商標)カルボマー及びヒドロキシプロピルメチルセルロースを含有し、前記界面活性剤はポリオキシエチレンソルビタンエステル界面活性剤を含有する、請求項 17 に記載の組成物。

【請求項 19】

1%のグリセリンと、0.05%～0.002%の P e m u l e n (登録商標)カルボマーと、0.2%のヒドロキシプロピルメチルセルロースと、0.05%～0.4%のポリオキシエチレンソルビタンエステル界面活性剤と、0.005%の塩化ベンズアルコニウムを含有する、請求項 18 に記載の組成物。

【請求項 20】

前記疎水性構成要素は0.05重量%～0.5重量%の範囲にて存在する、請求項 16 に記載の組成物。

【請求項 21】

スキンケア用組成物において、

水と、

0.05%～0.5%のアボカド油と、0.05%～0.5%のヒマシ油とを含有する疎水性構成要素とを含有し、

前記スキンケア用組成物は、ドライアイ症候群の愁訴があるヒトの眼に入れられたときに、ドライアイ症候群を有利に処置するために有効な量で存在する疎水性構成要素を含有し、

前記組成物は、a) 4センチポアズ～100センチポアズ、及びb) 100センチポアズを超える数値から選択される粘度を有する、スキンケア用組成物。

【請求項 22】

等張剤、粘度増強剤、及び界面活性剤をさらに含有する、請求項 21 に記載のスキンケア用組成物。

【請求項 23】

前記等張剤の構成要素はグリセリンを含有し、前記粘度増強剤は P e m u l e n (登録商標)カルボマーを含有し、前記界面活性剤はポリオキシエチレンソルビタンエステル界面活性剤を含有する、請求項 22 に記載のスキンケア用組成物。

【請求項 24】

エマルションからなる、請求項 21 に記載のスキンケア用組成物。

【請求項 25】

ドライアイの治療のための薬剤として有効であるように眼瞼の処置のために調剤されている、請求項 21 に記載のスキンケア用組成物。

【請求項 26】

化粧用調剤において、

水と、

0.05重量%～0.5重量%のアボカド油と、0.05重量%～0.5重量%のヒマシ油とを含有する疎水性構成要素とを含有し、

前記疎水性構成要素は、ドライアイ症候群の愁訴があるヒトの眼に入れられたときに、ドライアイ症候群を有利に処置するために有効な量で存在する疎水性構成要素を含有し、

前記化粧用調剤は、a) 1.3センチポアズ～100センチポアズ、及びb) 100センチポアズを超える数値範囲から選択される粘度を有する、化粧用調剤。

【請求項 27】

前記化粧用調剤は、アイライナー、アイシャドー、名キャップのファンデーションの組成物、及びマスカラからなる群から選択される化粧品として有効である、請求項 26 に記載の化粧用調剤。

【請求項 28】

ドライアイの愁訴があるヒトのドライアイ症候群を治療するための医薬品の製造に用いる、請求項 1～20のいずれかに記載の組成物の使用方法。

【請求項 29】

人工涙液組成物の製造に用いる、請求項 1 ～ 20 のいずれかに記載の組成物の使用方法

。

【請求項 30】

皮膚処置のための組成物の製造に用いる、請求項 1 ～ 25 のいずれかに記載の組成物の使用方法。

【請求項 31】

眼瞼処置のための組成物の製造に用いる、請求項 1 ～ 25 のいずれかに記載の組成物の使用方法。

【請求項 32】

化粧品組成物の製造に用いる、請求項 1 ～ 27 のいずれかに記載の組成物の使用方法。